

## 対話集会「新未来セッションNEO・2021」意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
1	<p>荒廃している耕作放棄地の再生利用を図るよう、県外移住者へ貸し付けたり、小中高生の課外活動に活用してはどうか。</p>	<p>本県では、食料の安定供給や国土の保全、文化の継承などに重要な役割を担う農地の有効活用や荒廃化の防止を図るため、農地を借りたい人と貸したい人を繋ぐ「農地中間管理機構」による農業の担い手となる方への農地の貸付けの促進や、水路・農道の管理などをはじめとする地域活動への支援を行っております。</p> <p>令和2年度からは新たに、荒廃化した農地を再生し、県外移住者等の借受希望者へ農地を貸し付ける取組に対して支援しているところであり、再生された農地を学生に有効に活用してもらう取組についても、検討して参ります。</p> <p>今後とも、関係機関や地域との連携を深め、荒廃農地の発生防止はもとより、解消・有効利用につながる取組をしっかりと進めて参ります。</p> <p>また、県内の小学校では、米作りを行い、収穫した餅米を活用して、餅つき体験をしたり、わらを活用してしめなわ作り体験を実施している学校もあり、食物に対する感謝の気持ちを育むとともに、日本の伝統文化のすばらしさを学ぶ貴重な場となっています。</p> <p>令和3年度の県教育委員会の調査では、実習用の農地を所有・借用した、農業体験活動を小学校で約6割、中学校で約2割の学校が実施しております。</p> <p>学校にとって農地の確保は難しいのが現状であり、農業体験活動の充実に向け、頂いた御意見を参考に参ります。</p>	農林教育
2	<p>新しい技術の発展は、人・企業を呼び込む好循環を生み出すことから、突出した技術を持つ研究施設を整備してはどうか。</p>	<p>本県では、光（LED）関連産業をはじめ、本県産業のさらなる成長と飛躍に向けた「次世代LEDバレイ構想」を策定するとともに、地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律（地方大学・地域産業創生法）」に基づく「地方大学・地域産業創生事業」について、平成30年10月に事業採択を受け、本県の強みである“光”をテーマとした、「光関連産業の振興」と、「光応用専門人材の育成」による、地域活性化の取組みを行っています。</p> <p>ご提案のありました「研究施設の整備」につきましては、当該事業において「深紫外」「赤外光コム」「テラヘルツ」といった、目に見えない光である、「次世代LED」に関する研究開発を推進するため、徳島大学に「ポストLEDフォトンクス研究所」を設置するとともに、光科学に関する世界的トップレベルの研究者を招へいしているところです。</p> <p>本県では、2025年に開催される大阪・関西万博を絶好の機会と捉え、これら最先端の技術を世界中の人々へPRし、本県への人・企業の流れを創出して参ります。</p>	政策商工

## 対話集会「新未来セッションNEO・2021」意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
3	<p>徳島の強みである自然を楽しむアクティビティや若い世代が木の良さを知ることの出来る施設を増やし、発信していくことが良いのではないか。</p>	<p>ご意見のとおり、本県は世界有数のラフティングコースである吉野川や、「カイフ・ポイント」と呼ばれる日本有数のサーフスポットなど、多彩なアウトドアコンテンツに恵まれています。これらの魅力的なコンテンツについて、デジタルマーケティングやSNS等により、効果的な情報発信を実施していくことで、「ワーケーション」や「ブレジャー」による滞在型観光の推進に繋げて参ります。</p> <p>また、本県の豊かな森林や、木にまつわる産業及び文化を学び、遊び、体験できる木育活動の中核拠点、さらには、新たなにぎわいの創出拠点として、「全国最大規模」となる「徳島木のおもちゃ美術館」を、開園20周年を迎えた「あすたむらんど徳島」内に令和3年10月、オープンしました。</p> <p>美術館は、統一感のあるスタイリッシュなデザインの空間に、徳島の原風景を木でダイナミックに表現した広場や、農林業体験や懐かしのおもちゃが楽しめるブースなど、あらゆる世代が楽しむことのできる、他県にはない唯一無二の施設として、大変好評を頂いているところです。そのほか、県内には20箇所の木育広場を設置しており、各地域において木育教室を実施して参ります。</p> <p>今後も、「徳島木のおもちゃ美術館」スタッフである「おもちゃ学芸員」におもてなしの心を持って、来館者をお迎えして頂くとともに、県内の木育広場との相乗効果により、徳島の木の魅力を県内外の皆さんにしっかりとPRして参ります。</p>	商工 農林

## 対話集会「新未来セッションNEO・2021」意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
4	県民向けに、徳島の魅力を再認識するための観光ツアーや、全国の子ども向けに直接自然に触れることができるような、自然体験型のツアーを実施してみてもどうか。	<p>コロナ禍における県内観光支援として「とくしま応援割」を実施することで、県内観光の需要喚起はもとより、県民の皆様が身近な観光地の魅力を再認識する機会の創出にも繋がったと考えています。この効果を近隣県からの誘客促進に活かすため、徳島の魅力を再発見した県民の皆様にも本県の魅力発信に御協力いただきながら、今後とも県内の観光振興を推進して参ります。</p> <p>また、本県の強みである自然を活かした修学旅行の誘致や、海、山、川などの自然をテーマにした番組等のロケ誘致・支援にも、取り組んでいきます。</p>	商工
5	県外旅行者の移動手段として、電動アシスト付き自転車のレンタルサイクリングを各所に設置してはどうか。	<p>令和元年度に「徳島県自転車活用推進計画」を策定し「レンタサイクル」の普及促進に取り組んでいます。道の駅や宿泊施設、観光地などで、官民間問わずレンタサイクル事業が展開されており、一部では、「電動アシスト付き自転車」や「e-バイク」を貸し出ししています。今後も多くの方が自転車を利用し、徳島の魅力を身近に感じていただけるよう、「レンタサイクル」普及促進をはじめ、自転車施策を推進して参ります。</p>	県土
6	世界をリードする人材を輩出できる体制作りのため、特定の分野に秀でた子どものみを集めた独自のスクールを設置してみてもどうか。	<p>本県では、Society5.0時代の世界を創造し、切り拓いていく資質・能力を持った人材を育成するために、各高校のリーダーとなる生徒等を対象に、「専門分野で最先端の研究をしている方とのセッションや大学生との協働による課題解決型ワークショップ行い、実証や検証した研究課題をまとめ発表するプログラム」や「特定の分野に秀でた人材や生涯にわたり困難な課題にチャレンジする人材を育成するため科学五輪チャレンジ講習会等の探究活動」を実施しています。</p> <p>今後もこれらの取組みをより充実・深化させ推進することで、世界をリードする人材の育成に努めて参ります。</p>	政策教育